記者発表

令 和 ５ 年 ９ 月 １ ３ 日
秋田県道路メンテナンス会議

令和５年度「第１回秋田県道路メンテナンス会議」を開催

～道路施設の効率的な老朽化対策の推進に向けて～

「秋田県道路メンテナンス会議」は、道路インフラの予防保全・老朽化対策の体制強化を図るために平成２６年度に設立され、これまで道路施設の定期点検計画の策定、見学会・研修会、点検及び修繕の実施に取り組んできたところです。
今回、令和４年度の点検結果等について、情報共有を図るとともに、効率的な老朽化対策の推進を目的に、以下のとおり会議を開催します。
なお、会議形式は書面送付による文書開催とします。

１．日　時：令和５年９月１４日（木）

２．参加者：秋田県道路メンテナンス会議構成員
（東北地方整備局、秋田県、県内２５市町村、東日本高速道路(株)東北支社）

３．会議内容
議事
（１）これまでの活動経緯
（２）令和４年度の点検結果（速報値）
（３）令和５年度の活動計画（案）

４．書面開催
上記３の議事及び道路メンテナンスに関するご意見等について、会議構成員の意見を確認します。

〈発表記者会：秋田県政記者会〉

＜問い合わせ先＞
秋田県道路メンテナンス会議事務局
国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所
副所長　山本（やまもと）　賢（さとし）　TEL 018-823-4167（代表）（内線205）

秋田県　建設部　道路課
道路課長　石川（いしかわ）　康樹（やすき）　TEL 018-860-2480（直通）

令和5年度　第1回
秋田県道路メンテナンス会議

令和5年9月14日

議　事

1. これまでの活動経緯　【資料1】

2. 令和4年度の点検結果（速報値）　【資料2】

3. 令和5年度の活動計画（案）　【資料3】
   （1）活動方針
   （2）年間スケジュール
   （3）技術力向上、点検の効率化
   （4）技術支援
   （5）広報活動

1. これまでの活動経緯

資料１－１

メンテナンス会議の目的

【会議設立趣意】

- インフラの老朽化対策が社会的な課題
- 地方自治体においても、道路インフラを適正に維持管理していくことが重要
- 特に市町村では、道路構造物の維持管理についての技術ノウハウや土木技術系職員が不足しているなどの課題
- 今後は、点検や計画策定の定期的な実施に加え、それに基づく修繕の実施も大きな課題
- 国において策定された「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、各インフラの管理者は、「インフラ長寿命化計画」及び「個別施設毎の長寿命化計画を策定する必要あり
- これらを踏まえ、橋梁・トンネル等の定期的な点検がスタートしようとするこの機に、道路管理者が連携しながら、技術力の向上、インフラの長寿命化の推進、さらには道路インフラの維持管理についての情報共有や課題解決への連携を深め、道路の管理を効果的に行っていくことが急務
- これらの取り組みに当たっては、個々の道路管理者で対応するよりも県内道路管理者が一体となって対応することが効果的であり、そのための新たな組織が必要

1. これまでの活動経緯

資料１－１

メンテナンス会議の目的

【規約】

（事業）第3条　会議は第2条の目的を推進するため、次の事業を実施する。

（1）道路メンテナンスに関する情報共有に関する事業
（技術基準説明会や現地研修会の実施、損傷事例や対応事例、点検や措置状況等）

（2）関係者の意見調整に関する事業
（点検、補修等に重点的に取り組むべき路線に関する意見調整、対外協議に関する調整等）

（3）国民・道路利用者等を対象とした広報に関する事業
（点検結果や構造物の健全度に関する情報発信、老朽化対策に関する関心と理解の醸成等）

（4）前各号に挙げるものの他、会議の設立の目的に沿った活動の企画及び実施に関する事業

1. これまでの活動経緯

資料１－２

秋田県道路メンテナンス会議の活動記録

年度	会議	研修・講習会	広報活動
2014 (H26)	5/27　道路メンテナンス会議設立 5/27　第１回道路メンテナンス会議 9/ 4　第２回道路メンテナンス会議 1/16　第３回道路メンテナンス会議 3/20　こ道橋連絡会議設立	7/28　市町村職員の参加による橋梁点検の現地研修会	6月～7月　パネル展示（各道の駅・秋田県庁内） 10/25　県民参加の『橋の老朽化対策見学会』
2015 (H27)	6/ 4　第１回道路メンテナンス会議 8/27　第２回道路メンテナンス会議 1/15　第３回道路メンテナンス会議	6/15　道路橋の補修・予防保全技術講習会 6/29～7/1　道路施設点検技術(現地)講習会 9/11 道路施設点検「包括発注」研修会 10/ 1・11/6 道路施設点検技術講習会 （トンネル編）（法面・土構造物編） 11/10 小規模橋梁点検技術講習会	12月～2月　パネル展示(各道の駅・秋田県庁内)
2016 (H28)	6/28　第１回道路メンテナンス会議 8/ 5　こ道橋連絡会議 3/8　道路鉄道連絡会議設立	5/26･27　メンテナンス研修 8/25、9/1・2・7小規模橋梁点検技術講習会 9/16　橋梁床版維持補修に関する特別講義講習会 11/28　自治体管理の橋を職員自らが点検(秋田市)	9/29　現場見学会(秋田県土木系高校生35名) 10/21 湯沢河国　橋梁点検実習 （大曲工業高校） 11/28　自治体管理の橋を職員自らが点検 （秋田市） 12月～2月　パネル展示(各道の駅)
2017 (H29)	9/ 8　第１回道路メンテナンス会議 こ道橋連絡会議 12/15　第２回道路メンテナンス会議 2/ 8　第３回道路メンテナンス会議 2/ 8　道路鉄道連絡会議	10/ 3　既設橋の耐震対策講習会 （道路メンテナンス会議） 10/25　小規模橋梁点検技術講習会 （県･市町村職員）	12月～2月　パネル展示(各道の駅)
2018 (H30)	7/30　道路メンテナンス会議 2/ 7　こ道橋連絡会議	9/18～10/26　直轄点検講習会 9/25～9/27　小規模橋梁点検技術講習会 10/17　既設橋の耐震対策講習会 11/19　修繕代行事業の現地見学会 11/20　メンテナンス支援団（湯沢市）	8月～老朽対策ポスター（各道の駅） 9/28　県版メンテナンス年報公表

1. これまでの活動経緯

資料１－２

秋田県道路メンテナンス会議の活動記録

年度	会議	研修・講習会	広報活動
2019 (R1)	4/18　第１回道路メンテナンス会議 6/12　事務局会議 8/1　第２回道路メンテナンス会議 2/13　第３回道路メンテナンス会議 2/13　道路鉄道連絡会議	9/2･6･11　小規模橋梁点検技術講習会 9/17　大規模修繕工事見学会 10/15～11/8　直轄橋梁点検講習会 （三種町、にかほ市、仙北市） 10/31　点検支援技術活用講習会（にかほ市） 12/2　県内道路メンテナンス支援団（美郷町） 12/3　新人市町村職員講習会	10/7　県版道路メンテナンス概要公表 11月～　老朽化対策ポスター展示 （各道の駅） 11月～7月　メンテナンス概要パネル展示 （各道の駅巡回）
2020 (R2)	8/25　第１回道路メンテナンス会議 3/19　第２回道路メンテナンス会議 3/19　道路鉄道連絡会議	9/9　メンテナンス支援団（大館市） 10/5, 12, 14　直轄橋梁点検講習会 （三種町、湯沢市） 10/9　大規模修繕工事見学会（秋田道：秋田市） 10/15, 16, 20　小規模橋梁点検技術講習会 （北秋田市、潟上市、横手市） 11/10　点検支援技術活用講習会（男鹿市）	11/30　道路メンテナンス概要公表 1月～3月　老朽化対策ポスター展示 （道の駅） 1月～3月　メンテナンス概要パネル掲示 （道の駅他）
2021 (R3)	8/4　第１回道路メンテナンス会議 2/14　第２回道路メンテナンス会議 2/14　道路鉄道連絡会議	6/25　大規模修繕工事見学会 （東北道：鹿角市） 9/1　直轄橋梁点検講習会 ～15（秋田市（2回）、能代市、横手市、湯沢市） 10/26, 27, 28　小規模橋梁点検技術講習会 （北秋田市、潟上市、横手市） 11/5　点検支援技術活用講習会（秋田市）	11/29　道路メンテナンス概要公表 1月～3月　メンテナンス概要・老朽化対策パネル掲示（道の駅他）
2022 (R4)	6/8　事務局会議 9/15　第１回道路メンテナンス会議 2/15　第２回道路メンテナンス会議 2/15　道路鉄道連絡会議	9/28～9/29　直轄橋梁点検講習会(秋田市) 10/26～28　小規模橋梁点検技術講習会 （北秋田市、潟上市、横手市） 11/1　点検支援技術活用講習会 （秋田市）	1/31　道路メンテナンス概要公表 2月～3月　ポスター、パネル掲示 （道の駅等）

2. 令和4年度の点検結果（速報値）

資料２－１

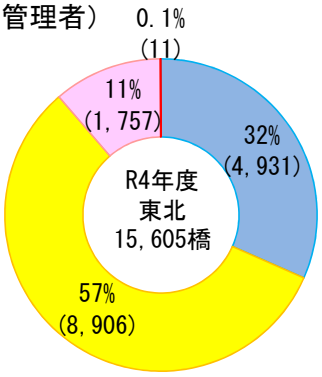
（１）橋梁の判定区分

東北全体

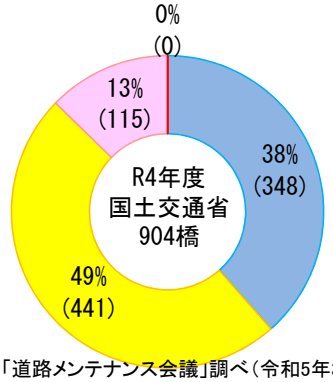
○橋梁では東北（全道路管理者）における
判定区分の割合は、Ⅰ 32%、Ⅱ 57%、Ⅲ 11%、Ⅳ 0.1%

管理者	施設数	R4点検実施数	R4判定区分			
			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	4,323	904	348	441	115	0
高速道路会社	3,022	587	145	383	59	0
県	16,124	3,476	830	2,011	635	0
市町村	50,239	10,638	3,608	6,071	948	11
合計	73,708	15,605	4,931	8,906	1,757	11

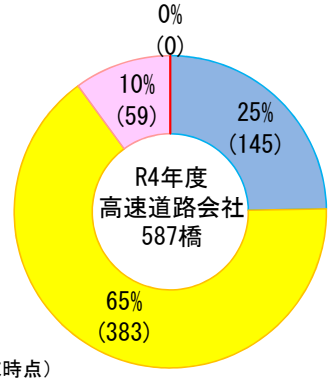
（全道路管理者）



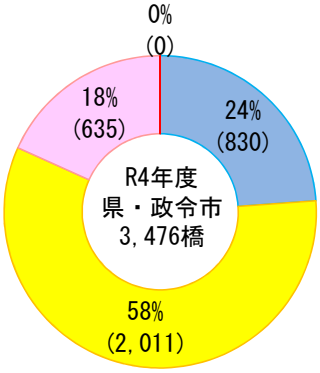
（国土交通省）



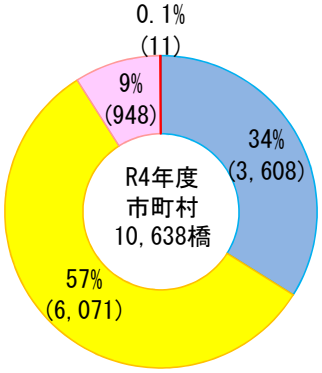
（高速道路会社）



（県・政令市）



（市町村）



※「道路メンテナンス会議」調べ（令和5年3月末時点）
※数値は速報値であり、精査によって変更する場合がある
※施設数は撤去済・廃止済等の施設を除く
※比率は四捨五入の関係で加算しても100%にならない場合がある

■Ⅰ：健全 ■Ⅱ：予防保全段階 ■Ⅲ：早期措置段階 ■Ⅳ：緊急措置段階

2. 令和4年度の点検結果（速報値）

資料２－１

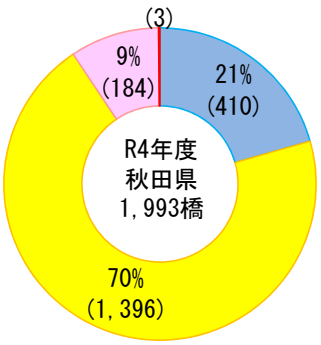
（１）橋梁の判定区分

秋田県

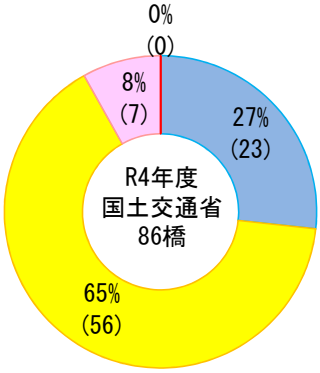
○橋梁では秋田県（全道路管理者）における
判定区分の割合は、Ⅰ 21%、Ⅱ 70%、Ⅲ 9%、Ⅳ 0.2%

管理者	施設数	R4点検実施数	R4判定区分			
			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	646	86	23	56	7	0
高速道路会社	372	80	30	47	3	0
県	2,296	426	15	367	44	0
市町村	8,587	1,401	342	926	130	3
合計	11,901	1,993	410	1,396	184	3

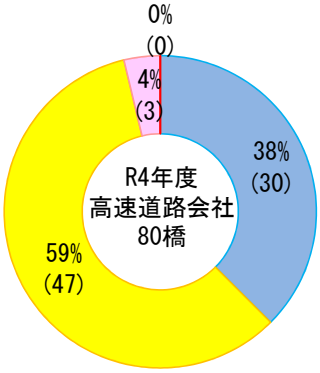
（全道路管理者）



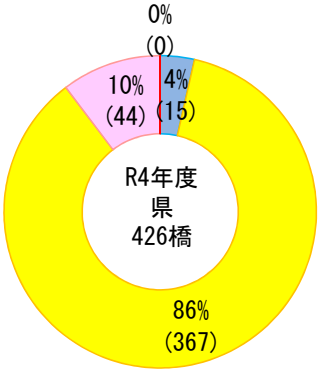
（国土交通省）



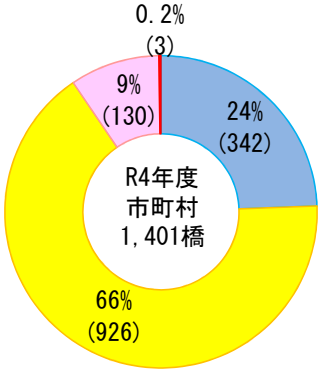
（高速道路会社）



（県）



（市町村）



※「道路メンテナンス会議」調べ（令和5年3月末時点）
※数値は速報値であり、精査によって変更する場合がある
※施設数は撤去済・廃止済等の施設を除く

■Ⅰ：健全 ■Ⅱ：予防保全段階 ■Ⅲ：早期措置段階 ■Ⅳ：緊急措置段階

2. 令和4年度の点検結果（速報値）

資料２－２

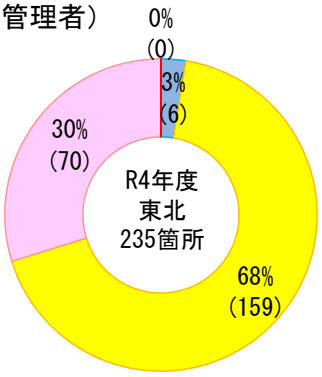
（２）トンネルの判定区分

東北全体

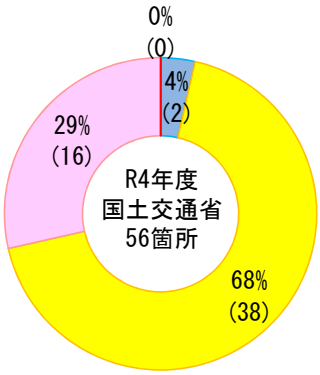
○トンネルでは東北（全道路管理者）における
判定区分の割合は、Ⅰ 3%、Ⅱ 68%、Ⅲ 30%、Ⅳ 0%

管理者	施設数	R4点検実施数	R4判定区分			
			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	282	56	2	38	16	0
高速道路会社	128	20	0	12	8	0
県	595	118	2	78	38	0
市町村	176	41	2	31	8	0
合計	1,181	235	6	159	70	0

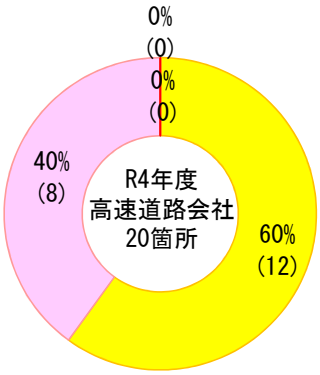
（全道路管理者）



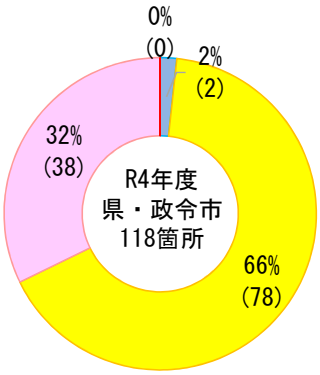
（国土交通省）



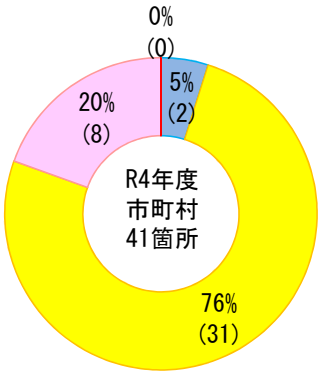
（高速道路会社）



（県・政令市）



（市町村）



※「道路メンテナンス会議」調べ（令和5年3月末時点）
※数値は速報値であり、精査によって変更する場合がある
※施設数は撤去済・廃止済等の施設を除く

Ⅰ：健全　Ⅱ：予防保全段階　Ⅲ：早期措置段階　Ⅳ：緊急措置段階

2. 令和4年度の点検結果（速報値）

資料２－２

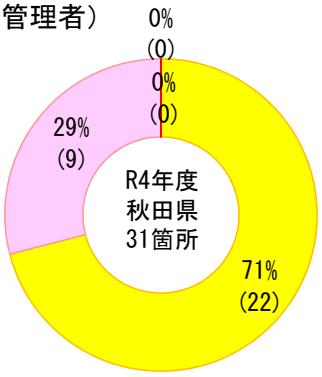
（２）トンネルの判定区分

秋田県

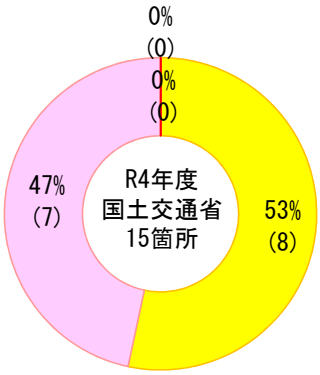
○トンネルでは秋田県（全道路管理者）における
判定区分の割合は、Ⅰ 0%、Ⅱ 71%、Ⅲ 29%、Ⅳ 0%

管理者	施設数	R4点検実施数	R4判定区分			
			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	29	15	0	8	7	0
高速道路会社	20	1	0	1	0	0
県	84	8	0	8	0	0
市町村	35	7	0	5	2	0
合計	168	31	0	22	9	0

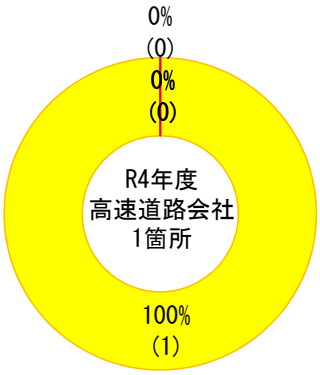
（全道路管理者）



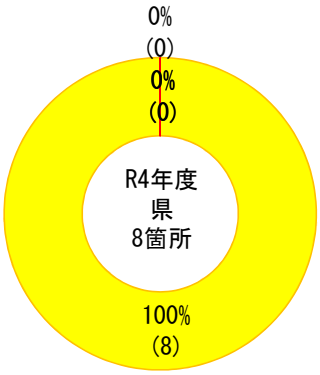
（国土交通省）



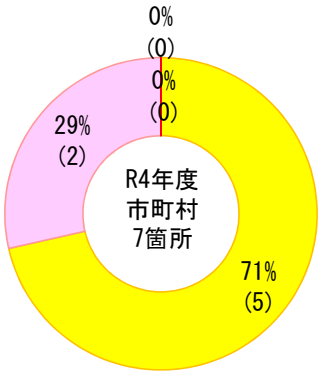
（高速道路会社）



（県）



（市町村）



※「道路メンテナンス会議」調べ（令和5年3月末時点）
※数値は速報値であり、精査によって変更する場合がある
※施設数は撤去済・廃止済等の施設を除く

Ⅰ：健全　Ⅱ：予防保全段階　Ⅲ：早期措置段階　Ⅳ：緊急措置段階

2. 令和4年度の点検結果（速報値）

資料２－３

（３）道路附属物等の判定区分

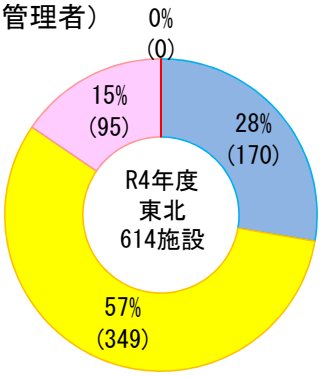
（シェッド・大型カルバート・横断歩道橋・門型標識等）

○道路附属物等では東北（全道路管理者）における判定区分の割合は、Ⅰ 28%、Ⅱ 57%、Ⅲ 15%、Ⅳ 0%

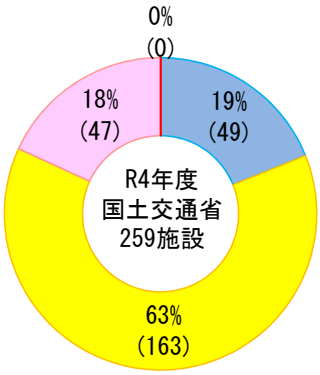
東北全体

管理者	施設数	R4点検実施数	R4判定区分			
			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	1,282	259	49	163	47	0
高速道路会社	915	168	90	76	2	0
県	1,036	158	25	93	40	0
市町村	318	29	6	17	6	0
合計	3,551	614	170	349	95	0

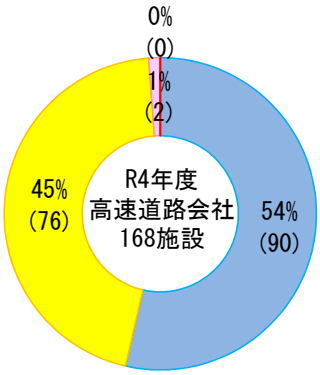
（全道路管理者）



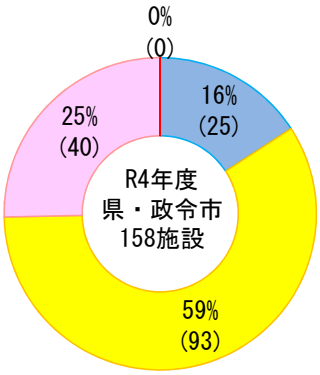
（国土交通省）



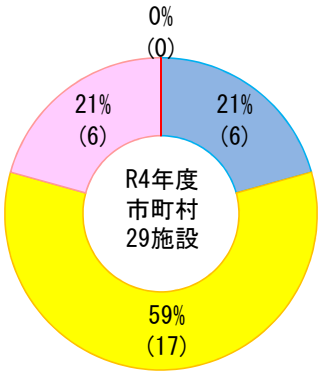
（高速道路会社）



（県・政令市）



（市町村）



※「道路メンテナンス会議」調べ（令和5年3月末時点）
※数値は速報値であり、精査によって変更する場合がある
※施設数は撤去済・廃止済等の施設を除く

Ⅰ：健全　Ⅱ：予防保全段階　Ⅲ：早期措置段階　Ⅳ：緊急措置段階

2. 令和4年度の点検結果（速報値）

資料２－３

（３）道路附属物等の判定区分

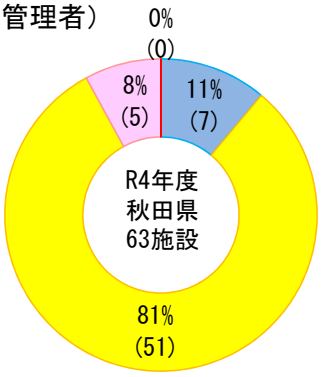
（シェッド・大型カルバート・横断歩道橋・門型標識等）

○道路附属物等では秋田県（全道路管理者）における判定区分の割合は、Ⅰ 11%、Ⅱ 81%、Ⅲ 8%、Ⅳ 0%

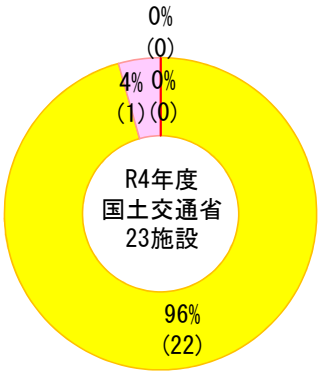
秋田県

管理者	施設数	R4点検実施数	R4判定区分			
			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	212	23	0	22	1	0
高速道路会社	101	12	7	5	0	0
県	153	27	0	23	4	0
市町村	45	1	0	1	0	0
合計	511	63	7	51	5	0

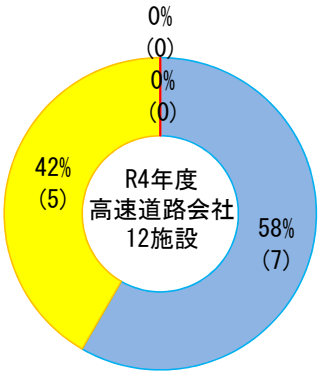
（全道路管理者）



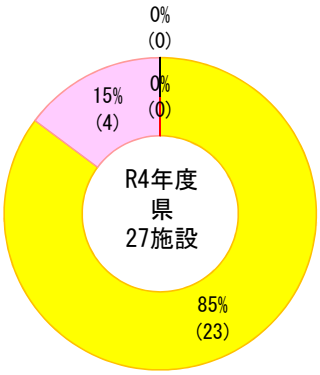
（国土交通省）



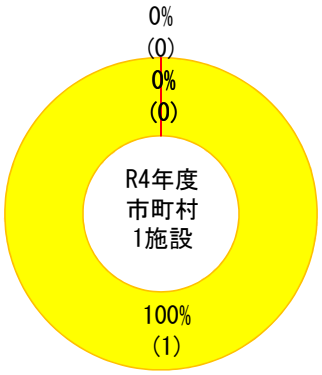
（高速道路会社）



（県）



（市町村）



※「道路メンテナンス会議」調べ（令和5年3月末時点）
※数値は速報値であり、精査によって変更する場合がある
※施設数は撤去済・廃止済等の施設を除く

Ⅰ：健全　Ⅱ：予防保全段階　Ⅲ：早期措置段階　Ⅳ：緊急措置段階

3. 令和5年度の活動計画（案）

資料３－１

（１）活動方針

①市町村の技術支援に重点

- 点検支援技術活用講習会
- 新人市町村職員講習会
- 小規模橋梁点検技術講習会
- 「県内道路メンテナンス支援団」
  ⇒直接現地や役場に出向いて、市町村への技術支援を実施

②広報の拡充（情報発信）

- 道の駅での広報を継続（老朽化の現状や対策による効果の発信）
- 県版「道路メンテナンス概要」を公表

③効率的に会議を開催

- 会議同日に、道路鉄道連絡会議、こ道橋連絡会議を開催
- 会議開催日は議会日程に配慮

3. 令和5年度の活動計画（案）

資料３－２

（２）年間スケジュール（秋田県）

年度	月	会議	研修・講習会	広報活動
2023（R5）	4			
	5			
	6		橋梁初級Ⅰ研修（Ⅰ期）（7/24～7/28）※	
	7			
	8		トンネル初級研修（8/21～24）※	
	9	9/14　第1回道路メンテナンス会議（文書開催）	橋梁初級Ⅰ研修（Ⅱ期）（9/11～15）※	
	10		小規模橋梁点検技術講習会（10月） 点検支援技術活用講習会（10月～） 構造物点検における点検実習（10月～）	
	11		橋梁初級Ⅱ研修（10/30～11/2）※	県版「道路メンテナンス概要」公表
	12			道の駅でのパネル展 広報用ポスター掲示（12月～1月）
	1			
	2	第2回道路メンテナンス会議 道路鉄道連絡会議、こ道橋連絡会議		
	3			

※青字は整備局主催研修

3. 令和5年度の活動計画(案)

資料３－２

○道路メンテナンス会議

第1回:本日
- 令和4年度の点検結果
- 令和5年度の活動方針の決定
- 講習会、研修、広報等の実施方針
- 道路鉄道連絡会議、こ道橋連絡会議に向けた作業確認

第2回:令和6年1～2月
- 令和5年度の活動報告
- 1巡目点検施設の修繕等措置の実施状況

3. 令和5年度の活動計画(案)

資料３－２

○道路鉄道連絡会議、こ道橋連絡会議

道路鉄道連絡会議

開催日程:令和6年1～2月

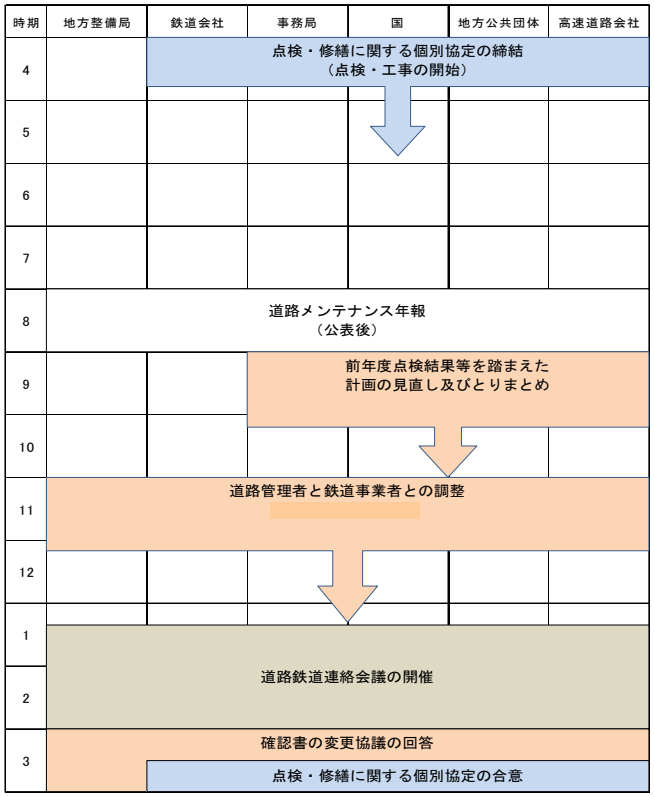
議題(案)
- 跨線橋の点検実施状況
- 跨線橋の点検・修繕計画
- 鉄道管理者からの要望事項等

こ道橋連絡会議

開催日程:令和6年1～2月

議題(案)
- 法定外施設の点検実施状況
- こ道橋管理者からの要望事項等

＜道路鉄道連絡会議の年間予定＞



3. 令和5年度の活動計画(案)

(3)技術力向上、点検の効率化

○地方自治体への支援(東北地方整備局主催研修)

※令和4年度の実施状況:延べ18名の地方公共団体職員が受講

【令和５年度研修（計画）】

①道路構造物管理実務者研修

〈東北地方整備局〉

対　　象:地方公共団体職員及び直轄職員

目　　的:地方公共団体の職員の技術力育成のため、定期点検要領に基づく点検に必要な知識・技能等を習得するための研修

下表4研修は全て全国統一のカリキュラム

橋梁初級Ⅰ(ⅰ期、ⅱ期):同内容を2回開催予定

橋梁初級Ⅰ:法に基づく点検において最低限必要な技能と知識について

橋梁初級Ⅱ:補修、補強に関する研修



研修名	開催時期	募集期間	募集定員	参加状況 ( )は地公体職員数
橋梁初級Ⅰ(ⅰ期)	7/24～7/28	4/28まで	20名	15名(6名)
トンネル初級	8/21～8/24	4/28まで	20名	11名(0名)
橋梁初級Ⅰ(ⅱ期)	9/11～9/15	4/28まで	20名	20名(6名)予定
橋梁初級Ⅱ	10/30～11/2	4/28まで	20名	12名(3名)予定

3. 令和5年度の活動計画(案)

資料３－３

(3)技術力向上、点検の効率化

②点検技術活用講習会

- **目的:道路メンテナンス会議の自治体支援の一環として、点検支援技術に対する理解を深め、各道路管理者の定期点検に活用してもらうことを目的に講習会を開催**
- **対象:県内の発注者(国、県、市町村、市町村橋梁等長寿命化協議会など)**
- **開催地:秋田市内の道路構造物(トンネルを予定)**
- **開催時期:10月予定**
- **対象技術:点検支援技術性能カタログ掲載の技術等**

▼以下の写真はR4年度の実施状況(国道7号　雄物大橋)



▲衝突回避ドローンの説明



▲デジタル打音検査の様子



▲無人リモコンボートによる深浅測量の様子



▲リモコンボート

3. 令和5年度の活動計画(案)

資料３－３

(３)技術力向上

③小規模橋梁点検技術講習会

自治体職員の技術力向上と点検経費の節減を図ることを目的として、小規模橋梁点検技術講習会を実施。

●名　　称:小規模橋梁点検技術講習会
●開催場所:中央
●対　　象:県内自治体職員　他
●開催時期:令和5年10月



・**溝橋、床版橋、H形鋼橋のH31．2点検要領改定に伴う周知促進**
・県内各市町村の、**職員の技術力向上と点検経費の節減**を図ることを目的として、「市町村橋梁等長寿命化連絡協議会」と共催。



橋梁点検について、現場で講習会を実施し、点検・記載方法、及び着目点を把握することによって、直営点検においても、点検結果の確実な記録や経費の節減を図る。

3. 令和5年度の活動計画(案)

資料３－３

(３)技術力向上

④構造物点検における点検実習

■日　　時 :点検技術活用講習会と同日を予定(10月予定)
■対　　象 :県内の発注者(国、県、市町村、市町村橋梁等長寿命化協議会など)
■講習内容(予定)
・定期点検要領における判定区分と補修判定の評価と概要
・トンネルのひび割れ等の目視点検
・判定の評価と質疑応答

令和4年度　点検実習橋梁一覧　(実績)

番号	事務所名	出張所名	路線名	距離標	橋梁名	形式	橋長(m)	所在地	使用機材	開催日
1	秋田	秋田	13	287.7	和田大橋	PC	81.9	秋田市河辺和田	梯子	9月28日
2	秋田	秋田	13	287.7	和田大橋	PC	81.9	秋田市河辺和田	梯子	9月29日

昨年度の実習風景


▲点検方法の説明


▲下部工の点検


▲下部工の点検

3. 令和5年度の活動計画（案）

資料３－４

（４）技術支援（県内道路メンテナンス支援団）

道路施設の点検や保全関係の技術的課題に係る自治体からの疑問や相談に対応するアドバイザーチームとして、『県内道路メンテナンス支援団』を設置
直接現地や役場に出向いて、市町村への技術的助言・支援を実施



市町村管理の道路施設（橋梁、トンネル、附属物、舗装、土工等）

支援目的・内容

支援

定期点検促進

予防保全、修繕に係る技術的課題の解決

相談

県内道路メンテナンス支援団

例えば、
○補修の優先順位を付けるための知恵を貸してほしい。
○点検要領の勉強会を役場で開催したい。
○劣化状況を見に来てアドバイスしてほしい。
などなど気軽な相談を。

損傷が著しいと診断された橋梁の対応方策について相談
⇒県内道路メンテナンス支援団で現地を確認し
措置方法等について助言

＜実施事例①（秋田県）R2.9＞





＜実施事例②（岩手県）R2.10＞





＜実施事例③（福島県）R4.1＞





3. 令和5年度の活動計画（案）

資料３－５

（５）広報活動

■老朽化対策ポスター、メンテナンス概要パネルを県内「道の駅」等に掲示

○道路施設老朽化の現状や対策などについて、一般向けの広報として令和5年度においても秋田県内の「道の駅」等に広報用ポスターの掲示とパネル展を実施



▲「道の駅」ことおか



▲「道の駅」しょうわ



▲「道の駅」協和



▲「道の駅」象潟

